

長野県訪問看護ステーション連絡協議会だより

2026年 1月発行 吉田・市瀬

2025年12月13日（土）長野県訪問看護ステーション連絡協議会主催 研修会
「その人らしく最期まで暮らせる幸せ～

ユニバーサル・ホスピスマインドの実装」

講師 久保田 千代美先生（エンドオブライフ・ケア協会理事）

参加者 77名（看護師以外の職種の方10名含む）

ユニバーサル・ホスピスマインドとして、
本人が穏やかであることを目指し、これまでの人生の中で苦しくても頑張れた理由、支えとなったものを考えると苦しい時に何かに気付くことがある。

人は誰しも苦しみを背負って生きている。苦しんでいる人はわかってくれる人がいると嬉しい。
（援助的コミュニケーション）相手の言いたいことを聴いて伝えたいことをキャッチしたら相手に返す。反復することは受けとめる事。相手が話し始めるのを待つ、沈黙は考える時間。

人は苦しみを通して優しさや思いやりに気づき、それが他者へと循環していきます。

講義とロールプレイングしながらあっという間の有意義な3時間でした。



2025年10月8日 災害時ネットワーク第二回交流会（オンライン）が開催されました

「熊本県訪問看護ステーション連絡協議会における災害後の体制構築とその後の実践活動やBCP支援について」

「2011年東日本大震災 東京都北区あすか山訪問看護ステーション所長からの体験」
等が発表され、ZOOM開催ながら様々な意見が交わされました。

連絡網の在り方は、トップダウン方式ではなくボトムアップ方式で・ペアステーションの推奨・訪問看護師一人一人の安全確保が重要、訪問看護の地域課題を踏まえての準備・備えが必要。

訪問看護師が頼れる・つながる・支えあう関係づくりが重要とのお話がありました。
（一之瀬訪問看護ステーション 竹野）

2025年関東甲信越ブロック

訪問看護ステーション連絡協議会・協会会議の報告

2025年11月14日に一都9県

訪問看護師定着・人材不足について報告会（オンライン）が開催されました。

千葉県、埼玉県、東京都はステーション数増加、若い管理者も増えている。看護師・管理者の高齢化や後継者不在、経営難で休止や廃業も多い。いずれも様々な研修を開催し訪問看護師育成、管理者等の人事定着・確保のために対応している。

地域での訪問看護師の役割は大きい！！

在宅や施設での看護師のやりがい、楽しさ、素晴らしさ、熱い気持ちをもっともっと伝わって広がるといいなと感じる意見交換でした。（訪問看護ステーションこうみ 友野）